平成 24 年 7 月 25 日

各　位

会 社 名　　株式会社エフティコミュニケーションズ
代表者名　　代表取締役社長　　平 崎 敏 之
（ＪＡＳＤＡＱ・コード番号：2763）
問合せ先　　執行役員社長室長　　山 本 博 之
電 話　　03（5847）2777（代表）

（訂正）「平成 22 年３月期 第３四半期決算短信」の一部訂正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 7 月 24 日付「第三者調査委員会報告書の受領に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、平成 24 年 7 月 24 日付で受領しました最終報告書において、第三者委員会による調査・検討の結果、過年度における当社連結子会社の取引に関して指摘を受け、過年度決算訂正の必要性を認知することとなりました。調査結果の事実を精査した結果、当該取引の発生した平成 22 年 3 月期第 1 四半期からの会計処理内容についての事実関係に基づき、事実に則した会計処理への訂正をするため、決算短信等の訂正を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、訂正箇所につきましては下線を付して表示しております。

記

（百万円未満切捨て）

（訂正前）

1. 平成22年３月期第３四半期の連結業績（平成21年４月１日～平成21年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年３月期第３四半期	28,238	△3.8	405	―	417	―	121	―
21年３月期第３四半期	29,348	―	△ 42	―	△ 136	―	△ 688	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年３月期第３四半期	1,233 96	1,225 10
21年３月期第３四半期	△8,808 91	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年３月期第３四半期	14,608	4,078	21.6	29,350 42
21年３月期	13,931	3,761	19.3	31,323 39

（参考） 自己資本 22年３月期第３四半期 3,156百万円 21年３月期 2,695百万円

（訂正後）

1. 平成22年３月期第３四半期の連結業績（平成21年４月１日～平成21年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年３月期第３四半期	28,179	△4.0	400	―	417	―	121	―
21年３月期第３四半期	29,348	―	△ 42	―	△ 136	―	△ 688	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年３月期第３四半期	1,233 96	1,225 10
21年３月期第３四半期	△8,808 91	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年３月期第３四半期	14,608	4,078	21.6	29,350 42
21年３月期	13,931	3,761	19.3	31,323 39

（参考） 自己資本 22年３月期第３四半期 3,156百万円 21年３月期 2,695百万円

（訂正前）

【定性的情報・財務諸表等】

1.　連結経営成績に関する定性的情報

1.　当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業のコスト削減活動の継続、雇用環境の悪化、節約志向による個人消費の低迷などにより景気は総じて弱含みで推移しました。在庫調整の進展、外需の回復等による企業収益の改善などが一部にみられ、景気底入れ感はあるものの、当社グループを取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況が続いております。

こうしたなか、当第３四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、前年同四半期の 29,348 百万円から 3.8%減少し 28,238 百万円となりました。

また、前連結会計年度より引き続き推進しております、「経営改革」による収益力の向上とコスト削減により収益は改善され、営業損益は前年同四半期の 42 百万円の損失から 448 百万円増加し 405 百万円の利益となり、経常損益は前年同四半期の 136 百万円の損失から 553 百万円増加し 417 百万円の利益、四半期純損益は前年同四半期の 688 百万円の損失から 809 百万円増加し 121 百万円の利益となりました。

なお、各セグメントにおける業績は、以下のとおりであります。

（中略）

（マーキングサプライ事業）

マーキングサプライ事業においては、インクジェットカートリッジの売上が回復基調であるものの、トナーカートリッジの売上は、企業の経費削減の流れを受け国内外とも厳しい状況で推移しました。

しかし、このような状況のもと、当連結会計年度から開始しました環境に配慮した新商材であるＬＥＤ照明の販売が当第３四半期に大きく伸びたこと等により売上高は増加いたしました。また、前年同四半期と比べコスト削減等により収益率が向上したことにより利益も増加いたしました。

以上により、売上高は前年同四半期の 16,471 百万円から 1.3%増加し 16,677 百万円となり、営業利益は前年同四半期の 94 百万円から 118.8%増加し 206 百万円となりました。

（訂正後）

【定性的情報・財務諸表等】

1.　連結経営成績に関する定性的情報

1.　当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業のコスト削減活動の継続、雇用環境の悪化、節約志向による個人消費の低迷などにより景気は総じて弱含みで推移しました。在庫調整の進展、外需の回復等による企業収益の改善などが一部にみられ、景気底入れ感はあるものの、当社グループを取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況が続いております。

こうしたなか、当第３四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、前年同四半期の 29,348 百万円から 4.0%減少し 28,179 百万円となりました。

また、前連結会計年度より引き続き推進しております、「経営改革」による収益力の向上とコスト削減により収益は改善され、営業損益は前年同四半期の 42 百万円の損失から 443 百万円増加し 400 百万円の利益となり、経常損益は前年同四半期の 136 百万円の損失から 553 百万円増加し 417 百万円の利益、四半期純損益は前年同四半期の 688 百万円の損失から 809 百万円増加し 121 百万円の利益となりました。

なお、各セグメントにおける業績は、以下のとおりであります。

（中略）

（マーキングサプライ事業）

マーキングサプライ事業においては、インクジェットカートリッジの売上が回復基調であるものの、トナーカートリッジの売上は、企業の経費削減の流れを受け国内外とも厳しい状況で推移しました。

しかし、このような状況のもと、当連結会計年度から開始しました環境に配慮した新商材であるＬＥＤ照明の販売が当第３四半期に大きく伸びたこと等により売上高は増加いたしました。また、前年同四半期と比べコスト削減等により収益率が向上したことにより利益も増加いたしました。

以上により、売上高は前年同四半期の 16,471 百万円から 0.9%増加し 16,619 百万円となり、営業利益は前年同四半期の 94 百万円から 114.0%増加し 202 百万円となりました。

（訂正前）

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成20年４月１日 至 平成20年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年12月31日）
売上高	29,348,201	28,238,012
売上原価	22,869,371	21,710,903
売上総利益	6,478,830	6,527,109
返品調整引当金戻入額	8,642	11,352
差引売上総利益	6,487,472	6,538,462
販売費及び一般管理費	6,530,251	6,133,061
営業利益又は営業損失（△）	△42,778	405,400
営業外収益		
受取ロイヤリティー	23,337	40,025
持分法による投資利益	5,667	－
その他	41,082	43,735
営業外収益合計	70,087	83,761
営業外費用		
支払利息	90,482	59,648
デリバティブ解約損	62,881	－
その他	9,988	12,478
営業外費用合計	163,353	72,126
経常利益又は経常損失（△）	△136,043	417,035
特別利益		
固定資産売却益	28,472	－
貸倒引当金戻入額	－	14,239
デリバティブ評価益	74,910	－
その他	2,655	569
特別利益合計	106,038	14,808
特別損失		
減損損失	217,304	－
投資有価証券評価損	118,069	42,564
店舗閉鎖損失	43,727	－
その他	120,840	11,373
特別損失合計	499,942	53,938
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△529,947	377,906
法人税、住民税及び事業税	120,506	163,150
法人税等調整額	8,822	14,570
法人税等合計	129,328	177,720
少数株主利益	29,474	79,155
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△688,751	121,030

（訂正後）

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成20年４月１日 至 平成20年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年12月31日）
売上高	29,348,201	28,179,512
売上原価	22,869,371	21,656,903
売上総利益	6,478,830	6,522,609
返品調整引当金戻入額	8,642	11,352
差引売上総利益	6,487,472	6,533,962
販売費及び一般管理費	6,530,251	6,133,061
営業利益又は営業損失（△）	△42,778	400,900
営業外収益		
受取ロイヤリティー	23,337	40,025
持分法による投資利益	5,667	－
その他	41,082	48,235
営業外収益合計	70,087	88,261
営業外費用		
支払利息	90,482	59,648
デリバティブ解約損	62,881	－
その他	9,988	12,478
営業外費用合計	163,353	72,126
経常利益又は経常損失（△）	△136,043	417,035
特別利益		
固定資産売却益	28,472	－
貸倒引当金戻入額	－	14,239
デリバティブ評価益	74,910	－
その他	2,655	569
特別利益合計	106,038	14,808
特別損失		
減損損失	217,304	－
投資有価証券評価損	118,069	42,564
店舗閉鎖損失	43,727	－
その他	120,840	11,373
特別損失合計	499,942	53,938
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△529,947	377,906
法人税、住民税及び事業税	120,506	163,150
法人税等調整額	8,822	14,570
法人税等合計	129,328	177,720
少数株主利益	29,474	79,155
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△688,751	121,030

（訂正前）

(5) セグメント情報

（中略）

1　事業の種類別セグメント情報

当第３四半期連結累計期間(自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日)

	ソリューション事業（千円）	モバイル事業（千円）	サービス＆サポート事業（千円）	マーキングサプライ事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,540,875	1,155,171	988,837	16,553,128	28,238,012	―	28,238,012
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	22,885	―	37,487	124,509	184,882	(184,882)	―
計	9,563,760	1,155,171	1,026,324	16,677,637	28,422,894	(184,882)	28,238,012
営業利益	566,026	41,946	146,272	206,822	961,068	(555,667)	405,400

（後略）

（訂正後）

(5) セグメント情報

（中略）

1　事業の種類別セグメント情報

当第３四半期連結累計期間(自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日)

	ソリューション事業（千円）	モバイル事業（千円）	サービス＆サポート事業（千円）	マーキングサプライ事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,540,875	1,155,171	988,837	16,494,628	28,179,512	―	28,179,512
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	22,885	―	37,487	124,509	184,882	(184,882)	―
計	9,563,760	1,155,171	1,026,324	16,619,137	28,364,394	(184,882)	28,179,512
営業利益	566,026	41,946	146,272	202,322	956,568	(555,667)	400,900

(後略)